

資源ごみは、自治会の資源回収事業へ “ごみの正しい出し方にご留意下さい”

会員の皆様のご協力をいただき実施している資源回収事業の実績をご報告します。

平成28年度は、合計で十

二万六キログラム余りを回収し、

市から百三万円の補助金が交付

されました。ご協力ありがとうございました。

しかしながら、資源回収事業

は、上の表に記載のとおり、回

収量が年々減少し、それに伴い市からの補助金も年平均で十万円程度減少してきています。

ごみ回収量の減少の要因は、

環境意識の高まりとともに、ご

みの量そのものが少なくなつて

きていることもあると思います

が、資源物の処理を民間業者に

委ね、またはスーパー・マーケッ

トのポイント制の回収ボックス

の利用ということもあるのでは

ないでしょうか。

自治会にとって資源ごみ回収

市補助金は、貴重でとても大切

な財源です。

自治会では、この補助金を防

犯灯の設置費や修理費、電気料

の支払い、各家庭への燃やせる

ごみ専用袋の配布、その他自治

会活動に活用しています。

資源ごみ回収市補助金が減ること、自治会の運営にとり、極めて深刻な事態となることを

ご理解いただき、今後も自治会の資源回収事業にご協力をお願いします。

また、子供会育成会でもご

み回収を行っていますので、

子供の環境意識の醸成や活動

資金の確保のため、自治会と

合わせてご協力をお願いしま

す。

なお、最近、「資源回収ステ

ーション」や「ごみ集積所」

への「ごみの出し方」に苦情

が寄せられることがあります。

「資源物」「燃やせるごみ」、

「燃やせないごみ」、「粗大ご

み」などそれぞれ収集日や時

間、ごみの種類、ごみ袋、ご

みの大きさなど家庭ごみの正

しい出し方が決まっています

ので、決まりを遵守するよう

お願いします。

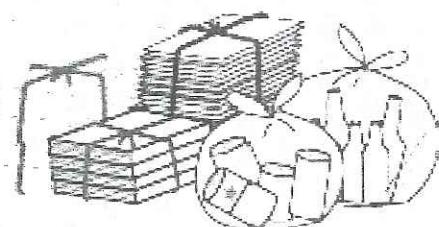


表-1 資源回収事業の実績

年度	空き缶類 kg	リターナル瓶		ワンウェイ瓶 kg	ペットボトル kg	その他 プラ kg	古紙 kg	古布 kg	合計 kg
		本 kg	本 kg						
23	20,002	2,607	1,826	19,751	8,668	9,606	129,830	2,870	192,553
24	17,255	2,898	2,029	17,704	6,839	9,032	113,640	3,330	169,829
25	17,239	2,598	1,820	16,532	6,215	8,701	116,340	2,040	168,887
26	13,345	2,157	1,511	15,072	5,892	8,404	110,040	2,300	156,564
27	14,505	1,959	1,374	13,841	5,870	9,021	89,200	2,130	135,941
28	12,378	1,805	1,265	13,654	5,693	9,079	82,670	1,930	126,669

注1 リターナル瓶は、日本酒、ビール瓶、雑瓶です。

2 古紙は、新聞紙、段ボール、雑紙です。

表-2 ひたちなか市補助金の推移

(単位 円)

年 度	上半期交付分	下半期交付分	補助金合計	対前年度差額
平成23年度	715,272	827,096	1,542,368	△87,688
平成24年度	713,328	710,816	1,424,144	△118,224
平成25年度	647,816	678,848	1,326,664	△97,480
平成26年度	672,248	627,568	1,299,816	△26,848
平成27年度	624,944	576,432	1,201,376	△98,440
平成28年度	511,096	518,952	1,030,048	△171,328
平成29年度	494,400			

注1 市補助金の積算基準は資源ごみ1kg当たり8円です。平成29年度下期からは1kg当たり10円になります。

2 補助金の上半期交付分は、前年の10月から当年の3月までの分です。下半期交付分は、当年の4月から9月までの分です。

3 平成29年度予算では、市資源回収補助金を「1,000,000円」見込んでいます。

平成二十八年度 福祉関係募金の 結果

市社会福祉協議会大平支部が
平成二十八年度に行いました福
祉関係募金の結果は、表3のと
おりです。

会員の皆様から寄せられた善
意の四つの募金の合計額は、百
六十四万円余りで、募金ごとに
集計し、納入窓口となっている
ひたちなか市社会福祉協議会に
お届けしました。

これらの募金は、「市社会福祉協
議会一般会費」については、ボ
ランティアや高齢の方を対象と
した事業、各地域での福祉活動
等に使われています。

「日本赤十字社資」については、ボ
ランティアや高齢の方を対象と
した事業、各地域での福祉活動
充てられています。

「赤い羽根共同募金」については、ボ
ランティア活動や高齢者福祉
や敬老会への補助など、地域福
祉活動を推進するうえで重要な
財源となっています。

「歳末たすけあい募金」につ
いては、市内にお住まいで支援
を必要とする世帯や福祉施設に
入所されている方々に、お見舞

金として届ける事業や地域福祉
活動の推進に活用されています。

市社会福祉協議会大平支部で
も、以上の募金の結果などから、
「敬老会補助金」や「支部福祉
活動助成金」、「支部活動助成金」、
「ネットワーク組織活動補助金」
などの交付を受け、敬老会や一
人暮らし高齢者食事会など多く
の福祉活動を行っており、貴重
な財源となっています。

「敬老会補助金」や「支部福祉
活動助成金」、「支部活動助成金」、
「ネットワーク組織活動補助金」
などの交付を受け、敬老会や一
人暮らし高齢者食事会など多く
の福祉活動を行っており、貴重
な財源となっています。

（敬老会補助金）

民生委員・児童委員協議会総会 （第二地区）が開催される

四月十日（月）に一中地区コ

ミュニティセンターにおいて平

成十九年度ひたちなか市第一

地区民生委員児童委員協議会

（地区民政協）の総会が開催さ

れました。

この第一地区民政協は、勝田

第一中学校の区域の民生委員児

童委員と主任児童委員で組織さ

れており、地域社会の福祉の増

進に寄与することを目的として

います。大平自治会からは、民

生委員に六名、主任児童委員に

一名の方が委嘱され、地域内の自

治会長が出席しました。

総会には、第二地区民政協の

民生委員児童委員四名と来賓

の市福祉事務所長、地域内の自

治会長が出席しています。

福祉活動に携わっています。

総会では、平成二十九年度の

事業報告と歳入歳出予算が承認

され、平成二十九年度の事業計

画と歳入歳出予算が原案通り議

決されました。

大平自治会では、自治会活動

の健全育成に取り組んでいきた

いと思いますので、民生委員児

童委員の連携を密にして、地域内

の高齢者福祉をはじめとする福

祉の充実や子育て支援、青少年

の健全育成に取り組んでいきた

いと思いますので、民生委員児

童委員の活動への理解、協

自治会活動保険 に加入

に加入するための保険を加入してい

ます。

大平自治会では、自治会活動

を対象とした保険に加入してい

ます。

保険の内容は、次のとおりで

す。

（一）賠償責任 一億円（自己負担額千円）

（二）死亡・後遺障害 一百万円

（三）入院 一日につき三千円

（四）通院 一日につき千円

（五）傷害費用 十万円

二月の班長会議

二月二十六日（日）午後六時から大平会館和室で、班長会議を開催しました。

一月の班長会議で依頼して開催された平成二十九年度の班長及び組長の名簿を提出していただきました。

新役員（班長及び組長）の選出について

（一）費用損害 五十万円
（二）この団体契約の自治会活動。
（三）練習中・予行演習中
（四）あと付等
（五）往復途上の事故

超高齢化社会を反映して、自
治会内でも高齢者が多く、また
今後も増加するものと見込まれ
ていますので、ますます民生委
員児童委員の活動への理解、協
力をお願いいたします。

補償内容など詳細については、
自治会役員まで連絡下さい。

往復途上の事故は、住居
と活動場所・行事開催地と
の通常の経路による往復途
上であれば補償対象となります。

民生

会及び日本赤十字社より、会費の募金の依頼がありましたので、募金活動への協力をお願いしました。募金額は、それぞれ世帯当たり五百円で、任意の募金です。募金は、それぞれ世帯当たり五百円で、任意の募金です。

三「納入伝票の記載の仕方にについて」

自治会費や募金を会計に納入する伝票の記載の仕方を説明しました。

四「平成二十八年度福祉募金の結果について」

平成二十八年度の福祉募金の結果を報告しました。

募金は、「市社会福祉協議会一般会費」、「日本赤十字社社資」、「赤い羽根共同募金」及び「歳末たすけあい募金」で、募金合計金額は百六十四万三千円余りでした。

五「平成二十八年度資源回収事業の実績について」

平成二十八年度に自治会で行なった資源回収事業の実績を報告しました。

資源ごみの回収量とそれに伴う市からの補助金については、五ページをご参考ください。

六「一中地区地域のふれあいを広める会総会について」

四月二十三日に開催する

「平成二十九年度一中地区地域のふれあいを広める会総会」

に代議員として出席予定の班長の皆様に協力をお願いしました。

七「市政懇談会の開催について」

本年度の市政懇談会が、六月二十四日（土）午前十時から十二時まで一中コミュニティセンターで行われることを報告しました。

多くの会員の皆様の参加をお願いしたいと思います。

八「避難行動要支援者・支援者名簿の作成について」

地震等の災害が発生した際、避難等の支援を必要とする方の手助けをする「避難行動要支援者・支援者名簿（三月時点）」が市から送付されてきました。

したので、支援者の選定及び確認を班長の皆様にお願いしました。

東日本大震災や熊本地震のように、災害はいつ発生するかわかりません。災害への備えが大切ですので、支援者の選定等について会員の皆様のお協力をお願いします。

第十八回一中地区ゴルフ大会 “大平団体優勝”

第十八回の一中地区ゴルフ大会（一中地区地域のふれあいを広める会体育部会が主催）が三月十四日（火）に常陸大

宮市のゴルフ倶楽部「セブンレイクス」で開催されました。

八名が出場しました。

大平自治会からは、ゴルフ十チーム、「個人戦」は、百十

クラブの精銳十四名が出場し、

結果は、団体戦で優勝するという輝かしい成績でした。普段のゴルフクラブの活動の成

果とチームワークの良さから得られた優勝だと思います。

ちなみに団体戦の二位は金上

位五人のネット平均で順位

結果は、団体戦で優勝するという輝かしい成績でした。普段のゴルフクラブの活動の成

果とチームワークの良さから得られた優勝だと思います。

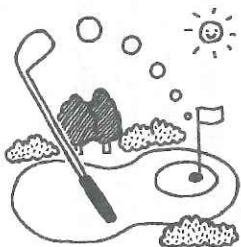
参加者は、大平ゴルフクラブの戸井田会長をはじめゴルフ爱好者二十九名（男性二十七名、女性二名）で、競技方法は新規アリヤです。

春を感じさせるコンディショングのもの、参加者の皆さん楽し

くプレーしていました。

競技結果は次のとおりです。

「優勝」	大山	幸一
「準優勝」	木村	正男
「三位」	木村	久子
「ベスグロ」	木村	正男



自治会、三位は東中根自治会でした。

一方、個人戦では、坂本武さんが三位、木村久子（第十六回大会優勝）さんが四位に入賞しました。

大平ゴルフ大会

大平ゴルフクラブの定例ゴルフ大会の結果をお知らせします。

第八十三回大会は、三月一日（木）「セブンレイクス」で行なわれました。

参加者は、大平ゴルフクラブの戸井田会長をはじめゴルフ爱好者二十九名（男性二十七名、女性二名）で、競技方法は新規アリヤです。

春を感じさせるコンディショングのもの、参加者の皆さん楽し

くプレーしていました。

競技結果は次のとおりです。

「優勝」	大山	幸一
「準優勝」	木村	正男
「三位」	木村	久子
「ベスグロ」	木村	正男